

将来像実現に向けた取組項目

1 新たなにぎわいやふれあいの創出

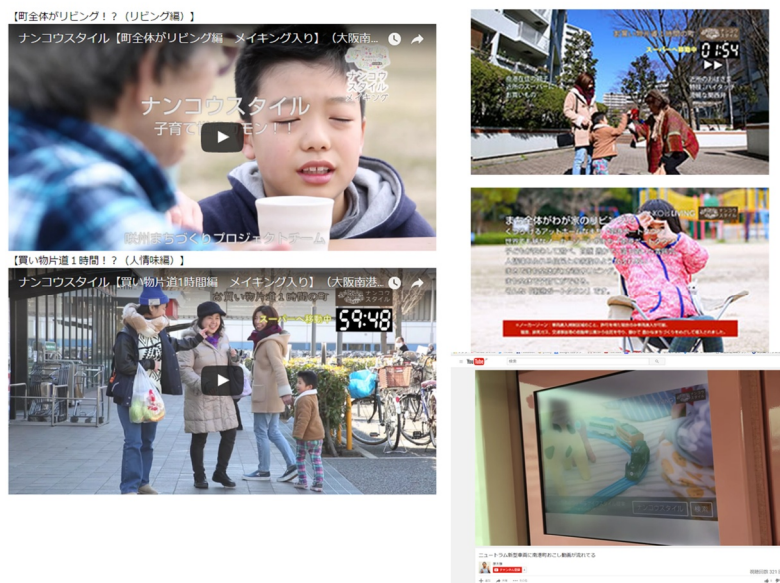
1-1 地区の魅力情報の発信

子育て世代をはじめ、幅広い世代の人々に移り住んでもらえるよう、行政をはじめ、住民や地域活動団体、事業者等が連携を図りながら、狭山ニュータウン地区の魅力、住まいや暮らしの情報を発信するとともに、活性化指針の具体化に向けた機運を高めます。

若い世代や子育て世代を対象としたまちの魅力発信の事例

まちのPR動画の作成 南港ポートタウン

- 南港ポートタウンは、大阪市臨海部咲洲に整備された計画人口 40,000 人のニュータウンである。昭和 48 年（1973 年）のまちびらきから、社会環境が変化するとともに、人口の減少や少子高齢化が進行するなど、オールドタウン化に伴う様々な問題が顕著になっている。
- 咲洲ウェルネスタウン構想に基づき、「若い世代を含め多様な世代により良好なコミュニティが形成され、住民自らが楽しみながら活動することでまちの魅力が向上し、誰もが心身ともに健康で、いきいきと心豊かに暮らすまち。」をめざしている。
- 若い世代や子育て世代の転入につなげるために、動画（ショートムービー）を作成、放映している。
- 動画はホームページに加えて、ニュートラムの駅でも放映されている。



出典：南港スタイルホームページより

泉北の豊かな暮らし方動画「泉北スタイル」の作成 泉北ニュータウン

- 泉北ニュータウンの豊かな暮らしを表現する動画（ショートムービー）を作成し、子育て世代などの転入につながる情報発信を行う。
- 泉北ならではの豊かな暮らし、空間、緑豊かな起伏を、家々のゆるやかな空間共有と、泉北の地形を家の屋根に重ねることで表現している。
- 泉北のライフスタイルを切り取ったショートムービーを公開し、作者と出演者とのトークショーを行う。泉北ニュータウンに住む家族の視点から、食卓と生産者の距離の近さや、緑あふれる公共空間での人々の集いなど、泉北ならではのまちの雰囲気を映し出す。



泉北ならではの豊かな暮らし、空間、緑豊かな起伏を、家々のゆるやかな空間共有と、泉北の地形を家の屋根に重ねることで表現。

製作：堺市 ディレクション：graf デザイン：三田野庵
協力：泉北ニュータウン住宅リノベーション協議会

ショートムービー 『New Standard 泉北ニュータウン』



『New Standard 泉北ニュータウン』



（短編）『New Standard 泉北ニュータウン』

出典：堺市ホームページより

1-2 住み替えや転入希望者への支援

行政と民間事業者が連携して、住み替え希望者への情報提供や相談等を行います。また、親元への近居・同居希望者を支援する仕組みについて検討します。

1-3 多様な住まいの供給・流通の促進

多様な世代がバランスよく居住し、交流することができるよう、若い世代や子育て世代にとって魅力的で購入可能な住宅の供給を誘導します。また、家族構成やライフスタイルの変化に応じて住み慣れた自宅の増改築・建替えや、空き家を有効活用した改修等のリノベーションを促進します。

住宅のリノベーション・空き家の啓発事例 泉北ニュータウン

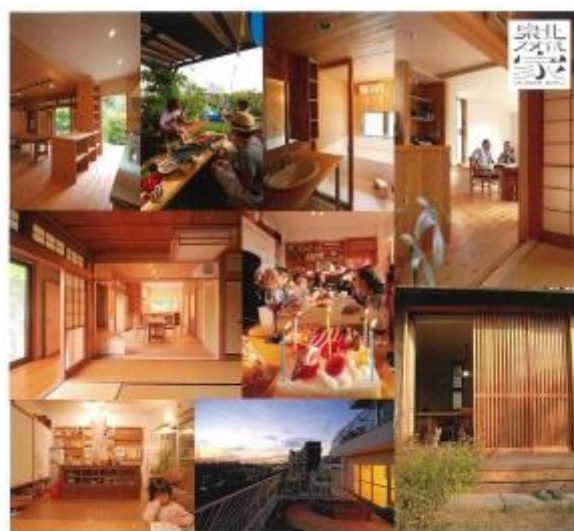
- 泉北ニュータウンは、高度経済成長期の住宅需要に応えるため、大規模な計画市街地として整備され、緑豊かな住環境を有するまちとして成長してきた。
- 一方で、昭和42年（1967年）のまちびらきから平成29年（2017年）12月で50年。この間、社会環境の変化とともに、人口減少や少子高齢化の進行、住宅や道路、橋梁などの都市施設の老朽化など、様々な問題が顕著になっている。
- 堺市では、これらの課題を解決しながら、まちの活力を維持、向上し、次世代に継承していくため、指針を策定し、泉北ニュータウンの再生に取り組んでいる。

- 泉北ニュータウン住宅リノベーション協議会（地元NPOや建築家、大阪市立大学などで構成）との連携や自治会などの協力を得ながら、戸建て空き家の利活用や空き家の発生予防、適正管理の促進等を目的とした調査、先進的モデル事業の実施、情報発信等に取り組んでいる。

- 家族構成の変化に応じて住み慣れた自宅や、中古住宅を手に入れて、自分たち好みのリノベーションを支援する。

- そうして手に入れたオンリーワンの住まいで自分たちらしく、そして時には街や地域にも開いて楽しく暮らすことをめざす。

- 実際に住まわれているリノベ住宅を巡るイベントを開催して情報発信する。



リノベ暮らし学校の 泉北 リノベ 祭り <http://osaka-nb.com/>

家族構成の変化に応じて 住み慣れた家をリノベしたり
中古住宅を手に入れ、自分たち好みにもリノベしたり
そうして手に入れた オンリーワンの住まいで
自分たちらしく、そして時には 街や地域にも開いて 楽しく暮らす
実際に住まわれているリノベ住宅を巡る一冊です
この機会にぜひ リノベ住宅を体験してみませんか

2018/06/30 Sat.

※光明池付近の戸建て2軒、マンション1軒（お申し込みの方に、詳細お知らせします。）

主催/泉北ニュータウン住宅リノベーション協議会
西紋一級建築士事務所×一級建築士事務所棟原
協力/堺市 市長公室 ニュータウン地域再生室
大阪市立大学生活科学部 森、小畑研究室



申込、問い合わせ先 / info@osaka-nb.com / 072-246-2248 無料 資料
<http://osaka-nb.com/ikoma/> / 080-0823-1312 担当：村土あさひ <https://www.osaka-nb.com/>

出典：堺市ホームページより

公社賃貸住宅×DIYリノベーション

- 若年層の居住ニーズに対応するために、入居者による模様替えについて、原状回復義務を免除する制度が導入されている。
- 泉北ニュータウン茶山台団地におけるモデル事業として、プロのDIYインストラクターによる5回のレクチャーを受けることで、床材の張替えから、室内扉、カウンターテーブル制作など、初心者では難しいDIYに挑戦できる。

若年夫婦・単身世帯向けリノベーション (リノベ45)

- 若年夫婦、単身世帯向けの住戸として、約45㎡の3Kの住戸を1ルームへ改修する事業である。
- 間仕切りを自由に設置でき、入居者が工夫のある暮らしを可能とする。



出典：大阪府住宅供給公社ホームページより

1-4 地区内の施設を活用したイベントの開催

地区内の交流施設や公園等を活用し、住民や事業者等が連携してオープンカフェやマルシェ等のイベントを開催することで、世代を超えた交流を促進するとともに、まちへの愛着を高める取組みを進めます。

緑地を活用した「DIY マーケット」の事例 南港ポートタウン

- 南港ポートタウンでは緑地を活用して、奇数月（年間 6 回）に DIY マーケットを開催している。約 40 店舗が出店しており、子育て世代の来客で賑わっている。
- 若い世代や子育て世代の集客を図るために、飲食店舗の他に子育て世代向けの DIY ワークショップや雑貨の店舗を誘致している。地元の子育て世代の出店もある。

当日の様子

facebook

ナンコウスタイル



Photo:はらまいこ 3

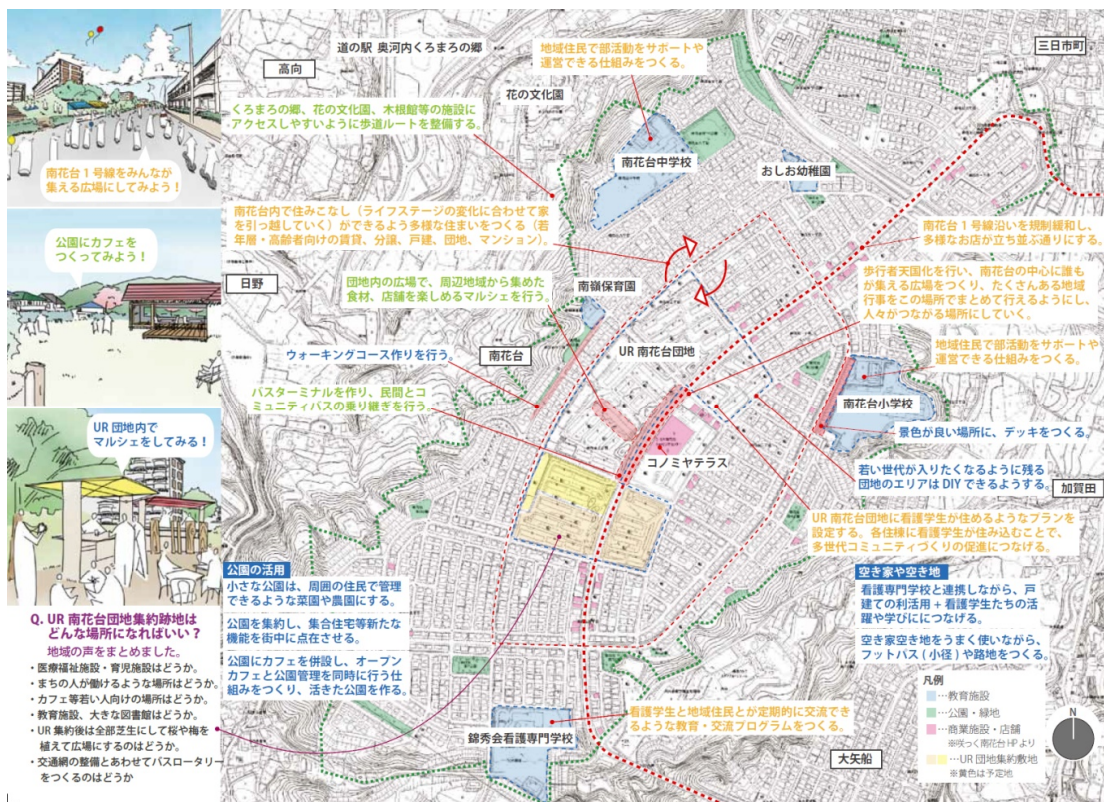
出典：南港スタイルホームページより

1-5 地区内の空きスペースの有効活用

空き家・空き地、空き店舗等の地区内の空きスペースについて、職住接近の拠点、地域交流や地域活動、身近な日常生活サービスの場として有効活用を図ります。

ビジョンづくりと空きスペース有効活用の事例 咲く南花台プロジェクト

- 平成26年(2014年)から南花台とその周辺地域を舞台に、「咲く南花台プロジェクト」がスタートした。市や大学、民間企業、地域事業者、住民が協働でまちの未来を考え、コノミヤテラスを拠点に、日々の生活支援からまちの景観まで様々なプロジェクトを進めている。
- 空きスペースを活用して、多様な居場所がたくさんあるまちをめざしている。
 - ・南花台1号線をみんなが集える広場にしてみよう。
 - ・公園にカフェをつくってみよう。小さな公園は、周囲の住民で管理できるような菜園や農園にする。
 - ・公園にカフェを併設し、オープンカフェと公園管理を同時に行う仕組みをつくり、活きた公園を作る。



出典：河内長野市ホームページより

1-6 地域活動団体の交流の促進

活動の活性化や担い手の確保など、地区内で活動する自治会等や南中学校区円卓会議、民生委員・児童委員や地区福祉委員会等の地域活動団体が抱える共通の課題についての対応を図ります。

1-7 周辺地域との交流の促進

狭山ニュータウン地区の周辺には、農地や緑地等の良好な自然環境が残されており、あまの街道を活用したウォーキングイベントの開催をはじめ、農業体験や市民農園等、住民が身近で自然や農業とふれあえる機会を提供します。



（ウォーキング大会）

2 子育て世代に選ばれる子育て支援・教育環境の充実

2-1 妊娠・出産包括支援事業等の充実

これから妊娠、出産、子育てを迎える世代が、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、健康診査や予防接種等の母子保健サービスや、妊娠中や出産後のサポート体制を整備し、魅力あるサービスを提供することで、本市で子育てしたいと思う人を増やしていきます。

2-2 子育て中の親への支援

子育て中の親の交流を促進するため、子育てに関する情報提供や相談、親子教室の開催など、子育て支援センター“ぽっぽえん”を核とした支援の充実を図ります。

市のホームページ等から子育て情報が手軽に入手できるとともに、スマートフォンやタブレット端末に子育て情報を配信するアプリケーションなど、子育てに関する情報提供機能の強化を図ります。



(子育て支援センター“ぽっぽえん”)

2-3 教育環境の整備

子どもたちが快適に安心して学校園生活を送ることができるよう、学校施設等の計画的な改修や更新により長寿命化を図ります。また、保護者をはじめ地域住民の意見や理解を得ながら、小中学校の適正規模、適正配置について検討を進めます。

2-4 地域ぐるみの青少年健全育成

社会全体で子どもたちの健やかな成長を見守り、みんなで子どもを育む観点から、各小学校区の青少年指導員、自治会等、PTA、こども会、学校等が連携した地域活動や、学校・家庭・地域が連携協力した中学校区の地域協議会の活動など、青少年健全育成のための取組みを進めます。

また、地域ぐるみで子どもを守り育てるため、地域住民や学校が一体となり、子どもの登下校時の見守り活動を実施し、子どもと地域住民のふれあいを促進するとともに、安全で安心なまちをめざします。

2-5 地域への愛着と誇りの醸成

狭山ニュータウン地区や周辺地域の歴史、自然環境を学ぶ機会、地域の伝統行事や社会貢献活動に参加体験する機会を提供することで、子どもたちの地域に対する愛着と誇りを醸成します。

3 日常生活を支えるサービスと支え合いの展開

3-1 地域包括ケアシステムの構築

介護と医療の連携、認知症施策の充実、介護予防の推進などにより、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく生活を送ることができるよう、必要なサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築をめざします。

3-2 新たなサービス機能の誘導

高低差のある地形と高齢化の進展が相まって、買物弱者等の増加が予想されるため、民間事業者と連携した移動販売や宅配サービス等の買い物支援、並びに交通網の隙間を埋める形での地域の互助による移動支援等の新たなサービス機能の誘導を図ります。

3-3 生きがいづくりや健康づくりの推進

いくつになっても、自分らしく生き生きと暮らし続けられるよう、生きがいを持ち、心身ともに健康であるための取組みを進めます。そのため、「元気クラブ」や「いきいき百歳体操」のように、支え合う活動そのものが介護予防や生きがいづくりにつながる取組みを拡充します。

また、あまの街道や緑道等でのウォーキングやジョギング、公園の健康器具を使った軽運動など、幅広い年代が快適に楽しみながら健康づくりに取り組みます。



(元気クラブ)

3-4 近畿大学医学部附属病院の移転への対応

近畿大学医学部附属病院の移転については、移転後の医療機能を確保するため、近畿大学と大阪府との三者で協議を行います。

4 快適で魅力的な都市空間の形成

4-1 にぎわいのある商業・サービスゾーンの形成

狭山ニュータウン中央交差点付近や幹線沿いには、一定の商業・サービス施設が立地していますが、こうした機能の維持・充実を図るため、これまでより柔軟な視点に立った地区計画制度などの活用や用途地域の見直しについて検討します。

4-2 安全・安心で、環境に配慮した住宅の普及

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築確認を受けて建築された住宅の耐震化を促進するため、耐震補助制度の周知を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。

また、耐震改修を行う場合や住宅を新築する場合などに、太陽光発電システムや燃料電池等の導入について補助制度の活用を促し、環境にやさしいまちづくりに努めます。

4-3 空き家対策の推進

適切な管理が行われていない空き家等が防災、防犯、衛生、景観等の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから、「空家等対策計画」を策定し、空き家情報の提供や跡地の活用など計画に基づいた空き家等に関する対策を進めます。

4-4 道路等の計画的な維持管理、バリアフリー化の推進

誰もが安全で安心して移動できるよう、金剛泉北線（陶器山通り）や狭山河内長野線（いちょう通り）等の幹線道路をはじめ、地区内の道路の計画的な維持補修や、歩道の段差解消などバリアフリー化を進めるとともに、地区内の交通安全対策の充実に努めます。

4-5 公共交通網の再整備

近畿大学医学部附属病院の移転に伴い、循環バスや路線バスの利用について影響が出ると予想されるため、公共交通機関と協議しながら住民ニーズの把握に努め、バス路線の見直しやダイヤ改正等により、公共交通網の再整備を図ります。



(循環バス)



(路線バス)

4-6 ニーズの多様化に対応した公園の再整備と活用

狭山ニュータウン開発時に整備された地区内の公園について、高齢化の進展や健康づくりへの関心の高まりなど住民ニーズの多様化に対応した再整備を進めるとともに、交流の場としての活用を図ります。



(地区内の公園)

4-7 緑のネットワーク(回廊)の形成

住民と行政が一体となってあまの街道の保全整備に努めます。また、花の植え付けや管理に住民の参画を得ながら、地区内の街路樹や公園・緑道を結ぶ緑のネットワーク(回廊)の形成を図ります。



(花いっぱい運動)

5 地域の安全・安心の向上

5-1 自主的な防災活動の促進

狭山ニュータウン地区においては、自主防災組織が 13 団体結成され、自主的な防災活動が行われていますが、引き続き住民の防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の結成促進、防災資機材の貸与、地域の自主的な防災活動への支援、地域の防災リーダーの育成など、さらなる地域防災力の育成、充実に努めます。



（防災訓練）

5-2 防災拠点の整備充実

狭山ニュータウン地区の近隣公園である東大池公園は、耐震性貯水槽や防災資機材の整備などを計画的に進めてきており、今後も市南部における防災拠点として防災機能の充実に図ります。



（東大池公園）

5-3 救急車の効率的な運用

近畿大学医学部附属病院の移転に伴う三次救急搬送時におけるタイムラグを解消するため、救急車の広域的な運用、民間事業者と連携した救急搬送などの取組みを進めます。

5-4 防犯対策の充実強化

地区内で発生している空き巣被害に対応するため、黒山警察署と連携し、防犯活動を強化するとともに、防犯カメラの有効活用など、防犯対策の充実を図ります。

また、特殊詐欺被害を防止するため、通話録音装置の無償貸与や啓発活動に努めます。



（青色防犯パトロール）

6 取組項目の進め方

将来像実現に向けた取組項目については、以下の考え方にに基づき進めていきます。

短 期：重点的かつ早期に取り組む項目です。

中長期：実施に向けた条件整理、環境整備などが必要な項目です。

継 続：既に取り組んでおり、今後も継続して取り組む項目です。

各取組項目の進め方

基本的な視点	取組項目	短期	中長期	継続
1 新たなにぎわいやふれあいの創出	1-1 地区の魅力情報の発信	○		
	1-2 住み替えや転入希望者への支援	○		
	1-3 多様な住まいの供給・流通の促進		○	
	1-4 地区内の施設を活用したイベントの開催	○		
	1-5 地区内の空きスペースの有効活用		○	
	1-6 地域活動団体の交流の促進		○	
	1-7 周辺地域との交流の促進		○	
2 子育て層に選ばれる子育て支援・教育環境の充実	2-1 妊娠・出産包括支援事業等の充実			○
	2-2 子育て中の親への支援			○
	2-3 教育環境の整備			○
	2-4 地域ぐるみの青少年健全育成			○
	2-5 地域への愛着と誇りの醸成			○
3 日常生活を支えるサービスと支え合いの展開	3-1 地域包括ケアシステムの構築			○
	3-2 新たなサービス機能の誘導		○	
	3-3 生きがいづくりや健康づくりの推進			○
	3-4 近畿大学医学部附属病院の移転への対応		○	
4 快適で魅力的な都市空間の形成	4-1 にぎわいのある商業・サービスゾーンの形成		○	
	4-2 安全・安心で、環境に配慮した住宅の普及			○
	4-3 空き家対策の推進	○		
	4-4 道路等の計画的な維持管理、バリアフリー化の推進			○
	4-5 公共交通網の再整備		○	
	4-6 ニーズの多様化に対応した公園の再整備と活用			○
	4-7 緑のネットワーク（回廊）の形成			○
5 地域の安全・安心の向上	5-1 自主的な防災活動の促進			○
	5-2 防災拠点の整備充実			○
	5-3 救急車の効率的な運用		○	
	5-4 防犯対策の充実強化			○